

4月22日のウクライナ情報

安齋育郎

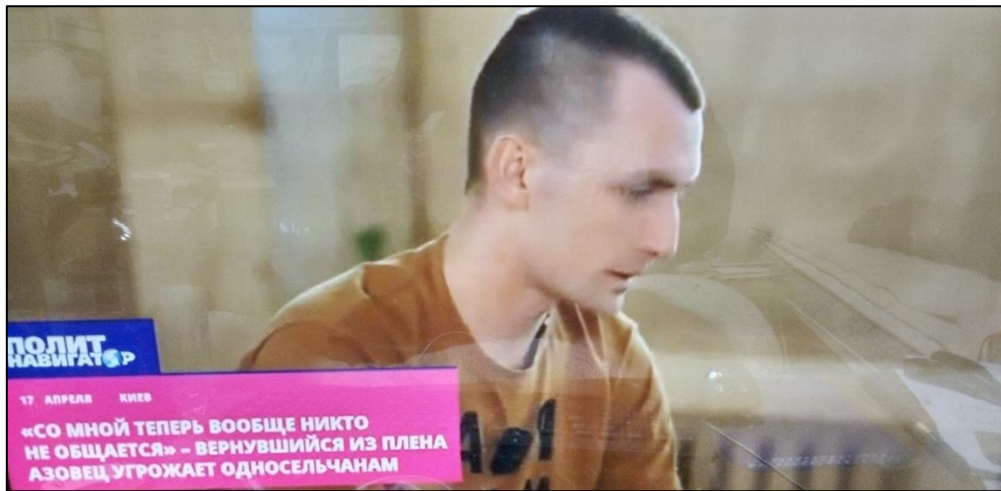
① 捕虜から戻ったネオナチ・アゾフの元戦闘員「もう誰も私と連絡を取ってくれない」 (2024年4月20日)

解放された領土にいる元ウクライナの「愛国者」たちさえも、急速にロシア側に付き始めている。

禁止されているネオナチ連隊「アゾフ」の戦闘員で、マリウポリ近郊のヤルタ村で育ったワディム・ジヤファロフ氏がインターネットチャンネル「スポーツアリーナ」の放送で語ったものである。

解放地ではロシアに対する期待が本当にある。特にアゾフ海岸のヤルタ村から判断すると、その半分は確実にそうだ。そして「ウクライナに栄光あれ」と叫び、可能な限りイデオロギー的だった人々は、すでに「ロシアに栄光あれ」と叫んでいる、とネオナチは言った。

<https://twitter.com/i/status/1781379607649980901>



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1781379607649980901?s=09>

② 日本人義勇兵に関する質問主意書—提出者・松原仁(無所属・東京都選出衆議院議員、2022年4月20日)

令和四年四月二十二日提出

質問第五三号

日本人義勇兵に関する質問主意書

提出者 松原 仁

駐日ウクライナ大使館が本年二月末、外国人義勇兵を募集している旨を公式ツイッターに投稿したところ、約七十名の日本人から応募があったとセルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ大使が述べている。また、そのうち約五十名が元自衛官だったと報道されている。日本人志願者がウクライナに入国したとの報道もある。

本職もウクライナ救援のため活動する者であるが、これほど多くの日本人が命懸けでウクライナの人々を助けようとしていることに感嘆した。特に、多数の元自衛官が応募した事実は、「私は、わが国の平和と独立を守る自衛隊の使命を自覚し、日本国憲法及び法令を遵守し、一致団結、厳正な規律を保持し、常に徳操を養い、人格を尊重し、心身を鍛え、技能を磨き、政治的活動に関与せず、強い責任

感をもつて専心職務の遂行にあたり、事に臨んでは危険を顧みず、身をもつて責務の完遂に務め、もつて国民の負託にこたえることを誓います。」とサービスの宣誓を行った自衛隊員の精強さや勇気、正義感を示すものであり、大変心強く思った次第である。

しかしながら、別の考え方が存在することも無視できない。ウクライナ語が堪能でない日本人がもっとも貢献できる方法は、兵士として従軍することでなく、人道支援活動や報道、国際世論への働きかけ等であるとする見解もある。また、日本人義勇兵を含め、外国人義勇兵がロシア軍に捕らえられた場合、人質のような存在となり、義勇兵自身が危険に直面するばかりか、その出身国の政府が直接紛争に巻き込まれ、当該政府が厳しい立場に立たされる危険もあり、結果的にウクライナの利益を損なうことにもなりかねないとの見解もある。

実際、四月十八日、ロシア国営テレビは、ウクライナ側の兵士として同国で戦闘に参加し、ロシア側の捕虜となった英国人とされる二名が、ウクライナ政府に対し拘束している親ロシア派政治家と自分達の交換を働きかけるよう、ジョンソン英首相に嘆願する映像を公開した。

そこで、以下、政府の見解を問う。

一 日本国憲法は、その前文で、「われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」と規定し、また、「日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ」と規定する。国民として、自ら危険を引き受け、その危険につき政府による庇護を放棄して義勇兵として当該前文の趣旨を実践する国民に対し、国民の国外犯規定がある刑法(明治四十年法律第四十五号)第九十九条の殺人罪及びその未遂罪について、令和四年三月二十四日の国際連合による人道決議がなされて以降は、外国政府の指揮命令の下で行った行為は正当行為として違法性は阻却されるか。政府の見解如何。

二 ジュネーブ条約他、国際法の下では、戦争の当事国の正規軍の兵士が負傷したり、捕虜となるなどして戦闘外に置かれたときには、復讐や拷問等、屈辱的な扱いを受けることがないように保護されるものとされている。一方、外国人義勇兵や傭兵については、戦闘捕虜となった場合、正規の戦闘員と同等の保護を受ける権利も認められず、その扱いは各国政府の判断に任されている。

人の移動が国境を越えて自由になされている現代社会において、正規軍以外の戦闘に関与する者すべてを対象に正規軍同様の国際法上の合法的な地位を与えるよう、国際社会に新たな条約の締結を行うなど国際間での合意を図るべきとの見解があるが、政府の見解如何。

右質問する。



https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_shitsumon.nsf/html/shitsumon/a208053.htm

㊦2023-04-05「ウクライナに 3000 人の日本人傭兵」に関するメモ。デマだよね

※安齋注:「ウクライナの 3000 人の日本人傭兵」の話は「ホント」なのか、「デマ」なのか？安齋は「未確認」としていましたが、以下の詳細な分析によると、中国初のいかにもデマっぽい情報のようです。

<http://iiyama16.blog.fc2.com/blog-entry-10865.html>

というブログの記事を受けたツイートが少しだけバズってて、それでブログの内容はというと、

岸田首相がゼレンスキーと会って約束したのは、7300 億円の資金援助だけでなく、3000 人の自衛隊員派遣だった。先月、ウクライナに到着した 3000 人の日本人傭兵は、ほとんどが退役したばかりの元自衛隊員である。現役自衛官を派遣すると大問題になるから、名目上は自衛隊を退役させて、傭兵として戦場に送り込んだ。ところが、ウクライナ側は死ねとばかりに、日本人傭兵を戦闘の最も激しいバハマートに配置したため、死傷者が続出。ウクライナの偵察兵が白旗を挙げて降伏し、傭兵の隠れ場をロシア軍に教えたため、既に数百名が戦死したという。日本では報道されず、誰も知ることのない日本人傭兵の戦死だが、英国や中国の報道機関が惨状を伝えている。
野崎晃市(48)

というもの。この野崎という方は中国在住の宗教社会学者という事で、またトップ画像を見ればわかる様にどう見ても中国で記事になっていることが理解できる。



そもそもこの画像自体は 2 月 23 日に youtube で江湖百曉生がアップロードした「惨烈、3000 日本雇傭兵、做了美国替死鬼」のサムネイル(=スマートフォンやパソコン、Instagram などの SNS、YouTube などの動画サイトを利用する際に表示される、小さいサイズの画像)なので情報元はここかなと。



https://www.youtube.com/watch?v=0EADQZXwOpY&t=8s&ab_channel=%E6%B1%9F%E6%B9%96%E7%99%BE%E6%99%93%E7%94%9F

この画像のそもそもの元ネタは実際にウクライナで日本人傭兵として現地にいる「サーロ (rattionyade)」氏による写真。これが 2 月 10 日。



<https://twitter.com/rattionyade/status/1624056388748976132>

みればわかる様にバズっており、これが MilitaryLand.net で紹介されるなどして拡散。



<https://twitter.com/Militarylandnet/status/1624353498904117249>

そして 2 月 15 日ごろから中国圏ネットで日本人傭兵 3000 人情報が流布され始める。例えば「重磅消息! 彻底翻脸! 3000 日本雇佣兵杀向乌克兰」など。ちなみにこの投稿によれば”2 月 15 日最新消息! 英国媒体《每日邮报》披露, 3000 日本雇佣兵已经杀到乌克兰, 与乌克兰并肩作战。”とある

様に情報源は2月15日付のイギリスのDaily mailがソースとのことなのだが検索しても見つからず、この記事以外においてもリンクが張られておらずにDaily mailがソースなら胡乱だが、Daily mailがソースという情報自体がやや胡乱。ちなみに2月時点の記事であると岸田のキの字も記事にはないことから、今流布している情報は岸田ゼレンスキー会談に対応した内容にデマがアップデートしたものだと考えられる。基本的に流布しているのは中国のネット圏内と思われるが、中国でもフェイクニュースではないかという指摘が「辟谣！3000 日本雇佣兵驰援乌克兰, 全是日本退伍军人」という投稿でされるなど、基本は個人投稿が主でありメディアで語られていないことからデマと考えるのが妥当。というか、3000人の日本人傭兵、それもわざわざ自衛隊員を退役させてとか荒唐無稽のレベル。なおここから派生して、176名の日本人兵士が爆弾で死んだという情報も流れているが、こちらも同様にネット与太だろう。最後に脇道だけれど写真は旭日旗であるので、redditでの投稿には批判が見えるし、韓国メディアでは記事化もしてる。旭日旗の歴史的意味を鑑みればこれは避けえない批判。中国では兵の写真とナチとを下記のように関連付けられた投稿も存在している様でファクトチェック記事すら存在する。



事程左様に旗が持っている歴史的意味は馬鹿にはできない。そう考えると旭日旗は色々な意味で利用しやすい旗。

<https://nou-yunyun.hatenablog.com/entry/2023/04/05/220000>

④【ウクライナ問題の真相動画】(2024年3月6日)

米国務次官のヴィクトリア・ヌーランド氏が **V** 辞任の意向 **V** 2013年に国務次官補、2014年に何度もキエフ訪問、マイダン・クーデターを主導、ウクライナ政府の人事にも口を出し、今日の戦争へ導いた米ネオコンの中心人物。動画《NHK-BS ワールドニュース ウクライナ情勢 2013～2017》

<https://twitter.com/i/status/1765270665081303388>

※安齋注: 音声がよく聞き取れませんね。参考までに以下の動画もご覧下さい。

<https://rumble.com/v126iif-nhk-bs20132017.html>

※投稿者コメント: ご迷惑がかかる可能性があるのですが、元動画の詳細は控えさせていただきます
m(_)m**

「現在、反ロシアの立ち位置にいる NHK も、当時はウクライナ軍から砲撃を受け酷い状況に陥って

いるドネツク地方について報道していました…」

⑤2014年のNHK「ウクライナ代表のあまりの混乱ぶり」(既報)

<https://twitter.com/i/status/1610878804368715777>



<https://twitter.com/Maarmastansind3/status/1610878804368715777?s=09>

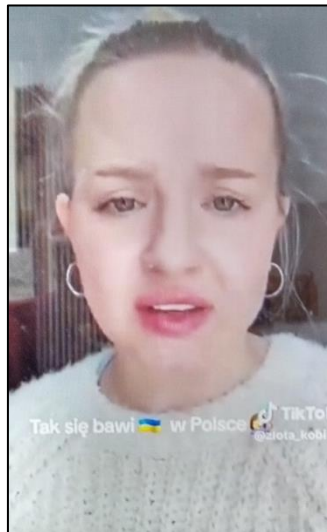
※投稿者コメント:ゼレンスキーの混乱ぶりは報道しないのだろうか？

⑥ウクライナさん本当にありがとう。おそらくこれがポーランド人が誰を入国させたかを知る唯一の方法だ(2024年4月18日)

ウクライナ人は決して感謝しませんでした、決して！

ウクライナ人を住ませた結果、豚小屋にされただけでなく、クッションなどの小物を盗んだり、家具を壊された。

<https://twitter.com/i/status/1780820737986904141>

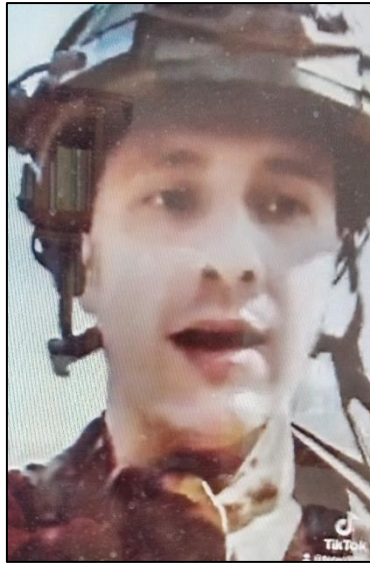


<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1780820737986904141?s=09>

⑦ウクライナ軍兵士uaは状況を理解し始めている(2024年4月20日)

「私は戦いから離れました。私は...この戦争はクソ喰らえだ...私たちには選挙がありませんでした。つまり、大統領がいないということは、命令に従う必要がないことを意味します...」

<https://twitter.com/i/status/1781493778920198317>



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1781493778920198317?s=09>

⑧チェコのペトル・パベル大統領は、西側諸国にはウクライナを支援する十分な資源がもはやないと述べた(2024年4月20日)

「チェコ共和国や他の国々は、ウクライナに提供できるほどの十分な備蓄資源をもはや持っていない。だから我々は、こうした兵器をもっと入手できる場所を探し始めている。我々は皆、ウクライナに対する米国の援助をヨーロッパが代替することはできないと考えている。米国は少なくとも全援助の50%を提供している。我々は皆、米国が正しい決断を下すのを待っている。」

<https://twitter.com/i/status/1781446792862961698>



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1781446792862961698?s=09>